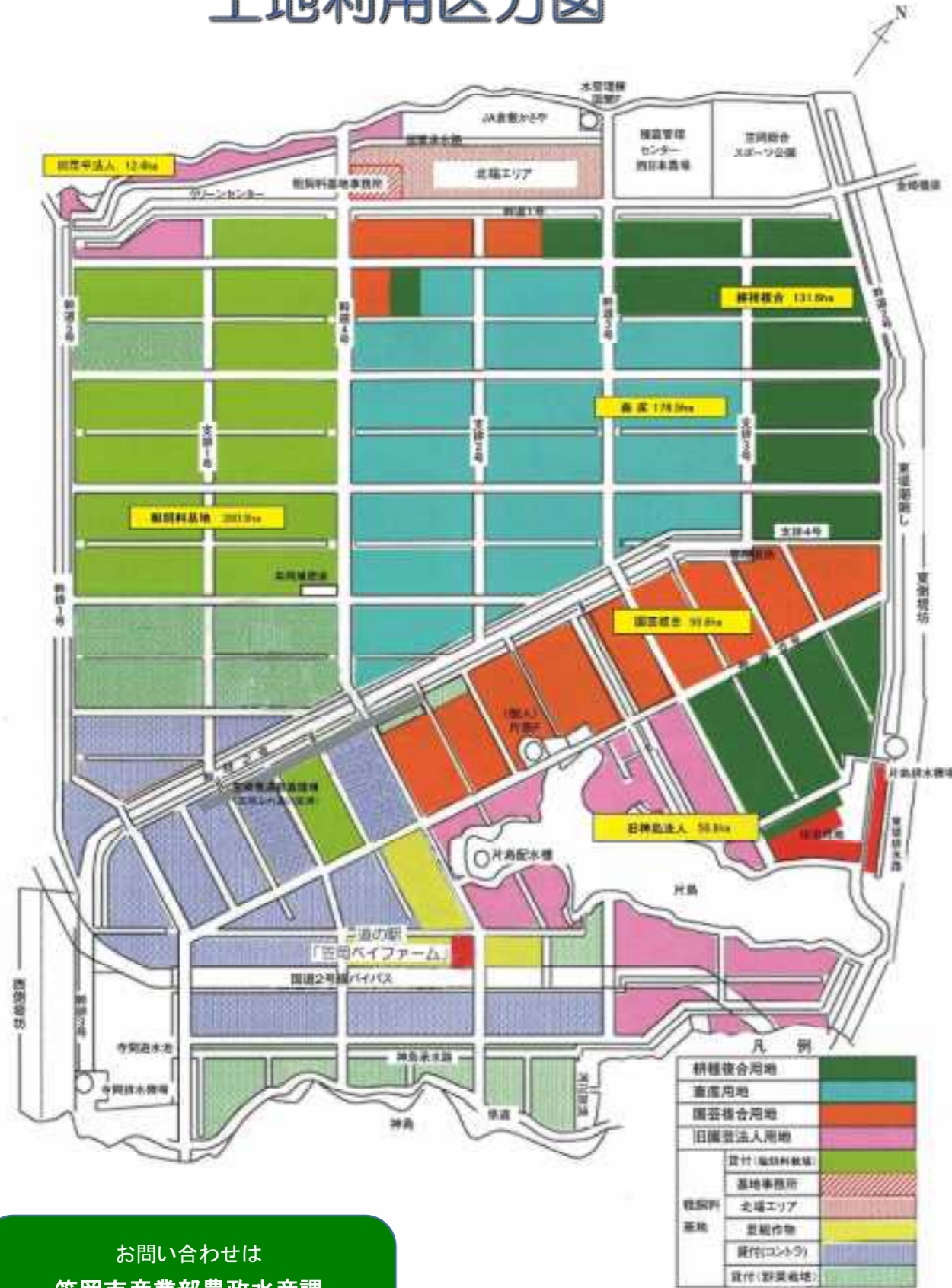


べいふあーむ笠岡

土地利用区分図



農業振興と付加価値向上による地域の発展

夢と希望の大地

笠岡湾干拓地

～since 1990～



お問い合わせは
笠岡市産業部農政水産課
TEL.0865-69-2143
岡山県笠岡市中央町1-1

平成29年4月作成



笠岡湾干拓地のあらまし

笠岡湾干拓の歴史は、江戸時代の新田開発に始まり、約300haの土地が造成されて、現在の笠岡市街地の母体をなしています。その後昭和33年に造成された105haの旧笠岡湾干拓地(富岡湾干拓)は、今では大きく変貌を遂げ、番町地区として市街地が形成されています。

こうした背景の中で、笠岡湾干拓地は国営事業として岡山県と日本鋼管(株)(現JFEスチール(株))が行う、笠岡臨海工業用地造成事業と共同で実施され、笠岡湾の海面 1,811haのうち、1,651haを堤防で締切り、農業用地として 1,191ha、工業用地として 460haを造成し、残る海面160haは港湾水域とする多目的干拓事業となりました。

◎総事業費 約300億円(農業用地関係分)

◎事業期間 昭和41年12月～平成2年3月

また、干拓地の農業用水を確保するための導水事業は、水源の高梁川から延長24kmの導水路を整備することにより、沿線市町の工業用水及び上水道用水も一緒に取水する多目的事業であり、島しょ部を含む笠岡市全域へ上水が供給され、慢性的な水不足から解放されることとなりました。

このように笠岡湾干拓事業は、広大な農業用地を造成して、畜産と畑作による大規模自立農家を創出し、農業振興を図るばかりでなく、地区周辺の工業基盤や市民の生活基盤の整備にも大きく貢献する総合開発事業となりました。



夢と希望の大地



笠岡湾干拓地農業用地の内訳

全体面積 1,190.8ha	配分用地 901.1ha	入植・増反農地 484.5ha	耕種複合用地 131.6ha
	他転用地 (運動公園・道路等) 103.5ha	粗飼料基地 380.5ha	畜産用地 178.5ha
土地改良施設 (堤防・排水路等) 186.2ha	種苗管理センター 15.8ha	農道離着陸場 5.1ha	園芸複合用地 98.8ha
	営農施設(JA) 10.4ha	道の駅 2.0ha	旧神島法人用地 56.8ha
	公共施設(笠岡市) 2.8ha	拓海町住宅用地 6.4ha	旧茂平法人用地 12.4ha



笠岡湾干拓地の主な農作物

干拓地では、資源循環型畜産と野菜の露地栽培・園芸作物や花きなどの施設栽培が大規模に行われています。



笠岡湾干拓地の活性化に向けて

笠岡市は干拓地北側にある粗飼料供給基地の農地22haを「北端エリア」として農業関連産業の誘致活動を行い、平成28年3月に(株)サラと誘致協定を結ぶことで22ha全ての農地に誘致が完了しました。

また、平成23年に国道2号バイパス線沿いに完成した道の駅「笠岡ベイファーム」は運営主体を民間に委託し、周囲に景観作物を育てることで集客を図り、年間約80万人の来客数を維持しています。

そのほか、岡山県と笠岡市が共同所有する粗飼料基地の農地について農業法人や畜産農家等に貸し出すなど、民間活力を利用した農地利用を推進することにより、干拓農業の振興と地域の発展をめざしています。



(株)サラの次世代園芸施設(完成予定図)



道の駅「笠岡ベイファーム」

道の駅「笠岡ベイファーム」周辺では、季節にあわせて菜の花、ポピー、ひまわり、コスモスが咲き誇り、それぞれに合わせたイベント開催が干拓地の恒例行事として多くの市民に親しまれています。